



がん検診受診推進員制度とは？

平成27年10月に創設された制度です。

大阪府が民間企業等と連携し、がんの予防、早期発見に向けた包括連携に関する協定を締結した企業等と連携して、がんの正しい知識の普及啓発を行い、がん検診受診率向上により、がんによる死亡者数の減少につなげることを目的としています。

がん検診受診推進員は所定の養成研修を受け、「大阪府がん検診受診推進員認定証」を交付されます。推進員は職場や地域において、以下の取組みを行います。



1

がんに対する
正しい知識の普及啓発

2

がん対策事業への協力

3

がん検診受診勧奨

4

がんについての情報提供



がん検診を受けるには？



会社が実施する
がん検診を受診



お勤めの会社の検診担当者に問い合わせる

市町村のがん検診
を利用して受診



お住まいの市町村のがん検診担当部署に
問い合わせる



がん検診ってどんなの？



肺がん検診

- 対象: 40歳以上の男女(1年に1回)
- 検診内容: 問診・エックス線撮影・喀痰細胞診

- 胸部エックス線撮影**
エックス線で肺全体を撮影します。肺野部(末梢部)にできるがんの発見に適しています。
- 喀痰細胞診(問診で必要と認めた場合)**
痰を採取し肺がんの細胞が混じっているかを顕微鏡で調べます。



胃がん検診

- 対象: 50歳以上の男女(2年に1回)(注)
- 検診内容: 問診・エックス線撮影又は胃内視鏡検査のいずれか

- 胃エックス線撮影**
胃を膨らませる発泡剤を飲んだ後にバリウムを飲み、さまざまな角度から胃の内部をエックス線で撮影します。胃の内部の変化がわかるので胃がんだけでなく、潰瘍やポリープなども発見できます。

(注)ただし、胃部エックス線に関しては、当分の間、対象年齢を40歳以上とし、年1回実施可。



大腸がん検診

- 対象: 40歳以上の男女(1年に1回)
- 検診内容: 問診・便潜血検査

- 便潜血検査**
専用の検査容器に少量の便を採取して提出します。便に潜む血液の有無を調べます。大腸のがんやポリープなどが発見できます。



乳がん検診

- 対象: 40歳以上の女性(2年に1回)
- 検診内容: 問診・マンモグラフィー・視触診

- マンモグラフィー(乳房エックス線撮影)**
乳房を片方ずつプラスチックの2枚の板で挟み、エックス線で撮影します。
- 視触診**
医師が乳房を見たり触ったりして、乳頭のひきつれやしこりの有無、リンパ節の状況などを調べます。(指針では、視触診は実施してもかまわないが、推奨しないとされています。)



子宮頸がん検診

- 対象: 20歳以上の女性(2年に1回)
- 検診内容: 問診・視診・内診・細胞診

- 内診**
医師により、子宮、卵巣、子宮近辺を触診します。
- 細胞診**
子宮頸部の細胞を専用の柔らかいへらなどで擦り取り、採れた細胞を染色し、顕微鏡で調べます。

